



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

94.6.24 No. 4014

職員増不貨物〇〇体制

六月一六日JR貨物本社において、時短・動乗勤の解明要求の動労総連合申一二号の団体交渉が、動労千葉・動労西日本の参加のもとに開催された。このなかで九四年度以降五年間で、実に二九八〇名もの五五歳到達者が在籍していることが明らかとなった。

JR貨物はすでに「中長期計画の考え方」で、むこう一〇年間で「鉄道部門七〇〇〇人体制」を明らかにしている。また上田副社長は、業界紙のなかでは「二〇〇〇年までに七〇〇〇人体制」と、五、六年で七〇〇〇人体制にすることを表明している。ここには職場がどうなるかと、今後五年で三〇〇〇人にも及ぶ五五歳到達者を大量強制出向に追いやり、職場を激変させないという分割・民営化体制の破綻と危機が根底にある。

一二月貨物白紙ダイヤ改は、まさにこの第一歩である。すでに六月下旬乗務手当提案
七月中旬本社ダイヤ改概要提案
八月下旬動乗勤「妥結」
九月上旬本社ダイヤ改詳細提案
九月下旬支社ダイヤ改提案
と、ダイヤ改にむけた予定もこの日明らかにされた。
われわれは、一二月ダイヤ改貨物大合理化阻止へ、当該貨物職場を先頭に動労千葉の総力をあげて立ち上がらなければならぬ。

時短・動乗勤の解明要求に団交！ 年度別支社別 55才到達者 構成表

年度	1994	1995	1996	1997	1998	合計
北海道支社	50	50	70	50	70	290
東北支社	40	60	50	50	70	270
関東支社	140	170	170	210	220	910
東海支社	50	60	60	130	80	380
関西支社	120	120	210	220	180	850
九州支社	40	50	50	50	60	250
本社	0	10	10	0	10	30
合計	440	520	620	710	690	2980

構成表

交渉では、会社側が申一二号への文書回答を読み上げたのち、一二月ダイヤ改までの予定を明らかにした。その上で組合側が基本的な点での追求を行なった。それはすでに五五歳出向では、職場の体制が維持できないこと、いまでも欠員状況があるなかで、要員ゼロの時短とはどういうことなのか。具体的な内容がないなかでは、職場には不安と不信があるだけであり、ダイヤ改もふくめて会社としての考えを具体的に明らかにすべきだと追及した。

また組合から検修などの技術段差の問題を本社としてどう見ているのかと指摘したのに対しては、強い指摘があったことはうけとめると、言うのみであった。
動労千葉は、「一六〇歳まで働ける労働条件の確立」を求めているが、これは五五歳出向の対象者のみならず、職場にいる者全体の問題になっている。全力で闘おう。
さらに動乗勤では、対立に終始した。
貨物協議会は、六月一八日、役員会を開催し「労働時間短縮」「動力車乗務員勤務制度」に対する再度の申し入れを作成し六月二〇日本社に申し入れた。

貨物協議会
役員会開催！

動労千葉の海開き



7月10日(日)

・地引き綱大会
・すいか割り



【場所】 九十九里・一松(ひとつま) 海岸
海の家「あいの」
【交通】 外房線茂原駅東口よりバス
白子車庫行で「一松海岸」下車
[茂原発] 8:10、9:11
※ 駐車場もあります。